

武蔵野書院

中古文学会会員様向け特設サイト

2020年5月24日～7月31日

このサイトからのご注文に限り書籍を、
学会割引(税込定価の2割引) + 送料無料
にてご注文いただけます。

ご注文方法

1. **A** 書籍名をクリックする、**B** 書籍QRコードを読み取る、
C 最後のページの注文書で、FAXやメール等で注文する。
A～C のいずれかの方法でご注文ください。
2. **A・B** でご注文の際は中古文学会会員である旨を明記ください。

お支払方法

1. ご注文いただいた書籍をお送りする際に同梱する、郵便振込用紙にてお支払ください(振込手数料小社負担)。銀行振込でも承りますが、その際は振込手数料をご負担いただきます。
2. 公費注文の場合、宛名・日付の有無・納品/見積/請求書の枚数をお知らせください。

***** ご注文・お問い合わせ先 *****

武蔵野書院

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11

TEL 03-3291-4859 FAX 03-3291-4839

e-mail: info@musashinosho.in.co.jp

源氏物語生々流転 論考と資料

著者架蔵の『源氏物語』関係
の新出古筆切資料を多数掲載

池田和臣〔著〕

最新刊

ISBN：978-4-8386-0729-7・本体 16000 円

A5 判上製カバー装・540 頁



仮名で物語を書くことには、どのような問題がはさまれていたのか。革新的で多様な方法、深い認識と思想、個性的な人間造型など、『源氏物語』の独自の世界形成はどのようにして獲得されたのか。『源氏物語』作者紫式部が、自らに先立つ文学的伝統—仮名表記史あるいは文学史の状況—とどう向かい合い格闘したのかを、様々な側面から考える。



平安文学の人物と史的世界

最新刊

—随筆・私家集・物語—

高橋由記〔著〕

ISBN：978-4-8386-0726-6・本体 12000 円

A5 判上製カバー装・438 頁



平安文学に描かれた貴紳・後宮・女房の実像を、漢文記録類・諸家集の読み解きから探る粘り強い試み。『枕草子』や『栄花物語』が何を描き、何を描かなかったか、文学作品の特異な手法が見えて来る。漢文日記や名家秘蔵の家集類が一齐に公開、刊行、施注されてきた近年の学界状況に柔軟、貪欲に挑み、これまで空白だった後宮空間の歴史が豊かに再現される。



次世代に伝えたい新しい古典

最新刊

—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて

井上次夫 / 高木史人 / 東原伸明 / 山下太郎〔編〕

ISBN：978-4-8386-0655-9・本体 2000 円

A5 判並製カバー装・272 頁



上代文学「古事記」から近代文学「土」までの日本文学、そして国語教育、日本文化に「令和」の視点からいま、新しい光を当てる。



平安中期和歌文学攷

最新刊

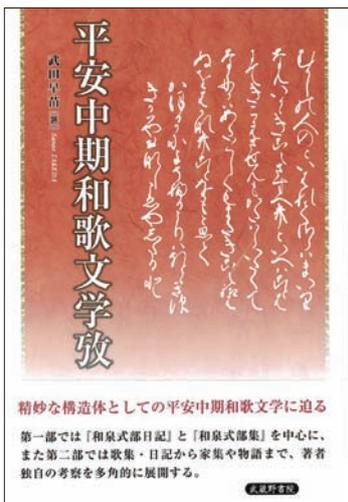
武田早苗〔著〕

ISBN：978-4-8386-0725-9・本体 11000 円

A5 判上製カバー装・408 頁



第一部では『和泉式部日記』と『和泉式部集』を中心に、また第二部では歌集・日記から家集や物語まで、著者独自の考察を多角的に展開し、精妙な構造体としての平安中期和歌文学に迫る。





源氏物語三条西家本の世界

最新刊

—室町時代享受史の一様相

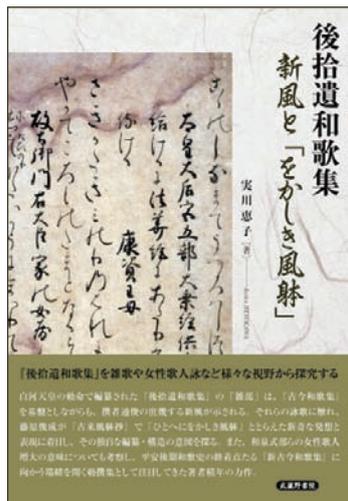
上野英子〔著〕

ISBN：978-4-8386-0724-2・本体 12500 円

A5 判上製カバー装・450 頁



室町時代に、三条西家の源氏物語本文がどのようにして形成されていったのか。三条西家における源氏物語研究の位相を、現存諸本の書誌や本文状況、各種日記、注釈書といった諸方面から多角的に分析し、体系的に跡付けようとする試み。



後拾遺和歌集 新風と「をかしき風躰」

実川恵子〔著〕

最新刊

ISBN：978-4-8386-0728-0・本体 8800 円

A5 判上製カバー装・220 頁



『後拾遺和歌集』の「雑部」は、『古今和歌集』を基盤としながらも、撰者通俊の庶幾する新風が示される。それらの詠歌に触れ、藤原俊成が『古来風躰抄』で「ひとへにをかしき風躰」ととらえた新奇な発想と表現に着目し、その独自の編纂・構造の意図を探る。また、和泉式部らの女性歌人増大の意味についても考察し、『新古今和歌集』に向かう端緒を開く勅撰集として注目してきた著者積年の力作。



文学としてのマンガ

最新刊

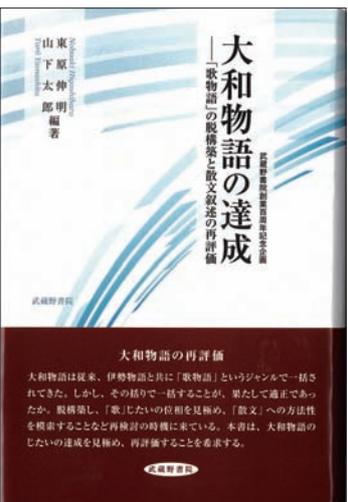
山田利博〔著〕

ISBN：978-4-8386-0488-3・本体 2000 円

四六判並製カバー装・248 頁



文学とはなにか。それは「作者」が「想像力」によって「虚構の世界を作り」「思想」や「感情」を表現したものではないのか。絵であらわされているか、文字であらわされているかはさほど問題ではない。その証拠に、マンガは特に古典文学に通ずるところがある。マンガを読もう。あわせて古典などの文学も読もう。それがどちらもさらに面白く読むコツだといえよう。



大和物語の達成

最新刊

—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価

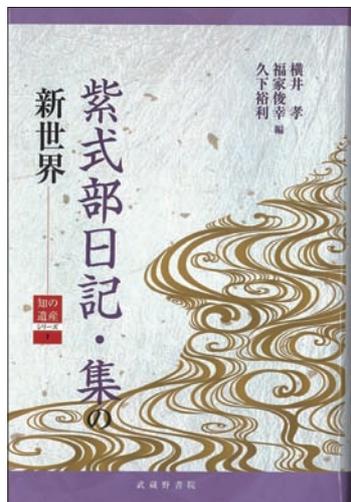
東原伸明
山下太郎〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0490-6・本体 3000 円

四六判上製カバー装・400 頁



大和物語は従来、伊勢物語と共に「歌物語」というジャンルで一括されてきた。しかし、その括りで一括することが、果たして適正であったか。脱構築し、「歌」じたいの位相を見極め、「散文」への方法性を模索することなど再検討の時機に来ている。本書は、大和物語のじたいの達成を見極め、再評価することを希求する。



紫式部日記・集の新世界 既刊分も好評発売中!

知の遺産シリーズ⑦

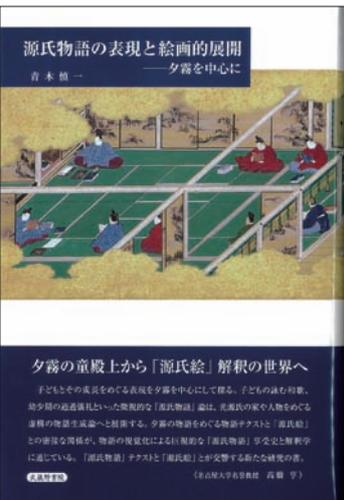
横井 孝 / 福家俊幸
久下裕利〔編〕

最新刊

ISBN : 978-4-8386-0489-0 ・ 本体 3000 円

四六判並製カバー装 ・ 280 頁

⑥狭衣物語の新世界 ⑤宇治十帖の新世界 ④堤中納言物語の新世界



源氏物語の表現と絵画的展開

—夕霧を中心に—

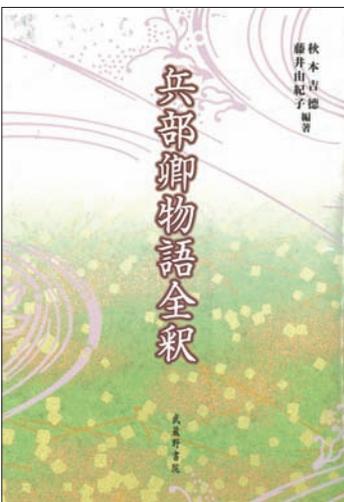
青木慎一〔著〕

ISBN : 978-4-8386-0720-4 ・ 本体 12000 円

A5 判上製カバー装 ・ 378 頁



子どもとその成長をめぐる表現を夕霧を中心に探る。子どもの詠む和歌、幼少期の通過儀礼といった微視的な『源氏物語』論は、光源氏の家や人物をめぐる虚構の物語生成論へと展開する。夕霧の物語をめぐる物語テキストと「源氏絵」との密接な関係が、物語の視覚化による巨視的な『源氏物語』享受史と解釈学に通じている。『源氏物語』テキストと「源氏絵」とが交響する新たな研究の書。



兵部卿物語全釈

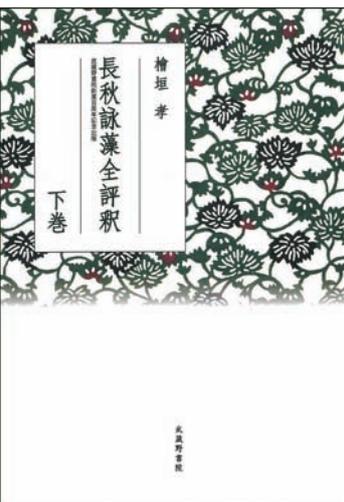
秋本吉徳 藤井由紀子〔編著〕

ISBN : 978-4-8386-0482-1 ・ 本体 3500 円

A5 判上製カバー装 ・ 148 頁



本書は慶應義塾図書館蔵本を底本とし、校合には、実践女子大学蔵本を用いて周到な校訂本文を提供。そこに平易なことば遣いを用いた読みやすい現代語訳と、物語をより深く読み解くための手引きとなる詳細で明快な注釈を付す。さらに「評」として物語の背景や章段ごとの設定が過不足無く解説されている。



長秋詠藻全評釈 下巻

檜垣 孝〔著〕

ISBN : 978-4-8386-0710-5 ・ 本体 12500 円

A5 判上製貼函入 ・ 464 頁



本書は、いわゆる第二類本『長秋詠藻』のうち、俊成自撰部分四八〇首の全評釈を試みたものである。自撰部分の後に加えられている「右大臣家百首」100首は、仮名に適宜漢字を当てるなど読みやすいよう整えた本文のみを掲出するにとどめた。また、本書底本の最後にある奥書も本文のみを掲出するにとどめた。



古韻琴声 余明 王昭君を奏でる (DVD)

七絃琴・琵琶 余明
企画・編集 上原作和
正道寺康子

JAN：4580549420010・本体 4000 円

日本国内専用

曲間を含む総収録時間 55 分 解説本 B 6 変型判 42 頁



琴は二五〇〇年の歴史を有し、「右書左琴」「知音」の故事や、孔子・諸葛孔明にまつわる音楽伝承で知られている。我が国の物語文学の主人公達もまた琴の名手であった。『うつほ』『源氏』に見える悲劇の漢女・王昭君にまつわる「胡笳の調べ」やその奏法、『狭衣』の「秋の調べ」。これらの琴曲を本邦初の映像化。余明の演奏でお届けする。



仮名文テキストとしての伊勢物語

近藤 さやか〔著〕

ISBN：978-4-8386-0715-0・本体 8500 円

A5 判上製カバー装・250 頁



『伊勢物語』の仮名に注目した意識と表現を考察し、有名章段一二条の後章段・東下り章段・斎宮章段・惟喬親王章段一だけではなく、これらの章段を中心に作品全体を通して読解できることを論じた。『伊勢物語』は和歌と仮名の可能性を広げた作品だという、文学史上の位置付けを示すことができれば幸いである。



日本文学概論ノート 古典編

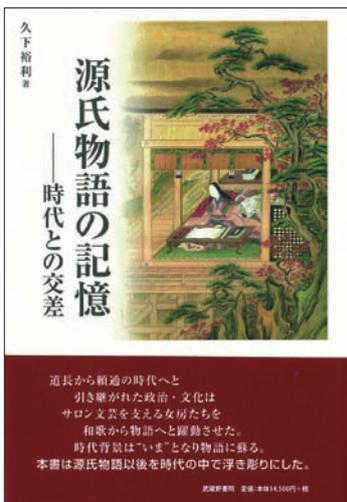
原 豊二〔著〕

ISBN：978-4-8386-0653-5・本体 1400 円

A5 判並製本・88 頁



この本は、著者が大学で講義をした内容を基とし、文学作品とどのように向き合うかということに重点を置き、「日本文学概論」「日本文学」「文学」などの大学の授業用の教材として執筆。半期の授業向けに構成は 15 回となっている。第 1 回目を除き、日本文学の形態、日本文学の理念、日本文学の研究、日本文学の課題といったグループに分けられ、効率的に学べるように工夫されたテキスト。



源氏物語の記憶

—時代との交差

久下裕利〔著〕

ISBN：978-4-8386-0701-3・本体 14500 円

A5 判上製カバー装・624 頁



道長から頼通の時代へと引き継がれた政治・文化はサロン文芸を支える女房たちを和歌から物語へと躍動させた。時代背景は「いま」となり物語に蘇る。本書は源氏物語以後を時代の中で浮き彫りにした。編著から単著まで、精力的に出版活動を行い、真摯に研究と向き合ってきた著者の、過去 12 年の論文をまとめた研究論文集。

〈今・ここ〉に効く源氏物語のつぶやき

諏訪園 純〔著〕

ISBN：978-4-8386-0481-4・本体 1200 円
四六判並製カバー装・232 頁



物語や小説を読む中で、登場人物が何となく口にした言葉がいつまでも心に残ることがある。文脈と言う衣を取り去った後に残るむき出しの言葉の断片は、読者の生きる〈今・ここ〉に解き放たれて、ときに人を導き、ときに人を励ます。そんな源氏物語の「つぶやき」を一つひとつ抜き書きし、テーマごとに整理した本書は、もう一つの源氏物語像を提示する。



〈今・ここ〉に効く
源氏物語のつぶやき

諏訪園 純

源氏物語の「つぶやき」に耳を傾けてみませんか？

物語や小説を読む中で、登場人物が何となく口にした言葉がいつまでも心に残ることがある。文脈という衣を取り去った後に残るむき出しの言葉の断片は、読者の生きる〈今・ここ〉に解き放たれて、ときに人を導き、ときに人を励ます。そんな源氏物語の「つぶやき」を一つひとつ抜き書きし、テーマごとに整理した本書は、もう一つの源氏物語像を提示するものである。源氏物語の言葉について、その過去や未来を振り返るのではなく、我々の〈今・ここ〉と掛け合わせることで、それをありのままに享受しようとするとき、物語の言葉はスーリー一のくびきから解き放たれ、場面や巻を隔てて交響し、多声的な意味を生産することであろう。(P.162-163/238P)

武蔵野書院

更級日記と東国の風景

元吉 進〔著〕

ISBN：978-4-8386-0480-7・本体 3000 円
四六判上製カバー装・272 頁



『更級日記』に書かれたすべての記事は、少女期から晩年までの四十余年に亘る、作者菅原孝標女にとってかけがえのない思い出の数々である。とりわけ多感な少女時代の三年あまりを過ごした上総国は、作品にどのような影響を与えているのだろうか。作者と東国とを結びつける歴史的かつ現実的な背景を、「東国の風景」をキーワードとしてさまざまな角度から考察する。



更級日記と
東国の風景

元吉 進

作者孝標女が見た東国の風景とは

『更級日記』に書かれたすべての記事は、少女期から晩年までの四十余年に亘る、作者菅原孝標女にとってかけがえのない思い出の数々である。とりわけ多感な少女時代の三年あまりを過ごした上総国は、作品にどのような影響を与えているのだろうか。作者と東国とを結びつける歴史的かつ現実的な背景を、「東国の風景」をキーワードとしてさまざまな角度から考察する。

武蔵野書院

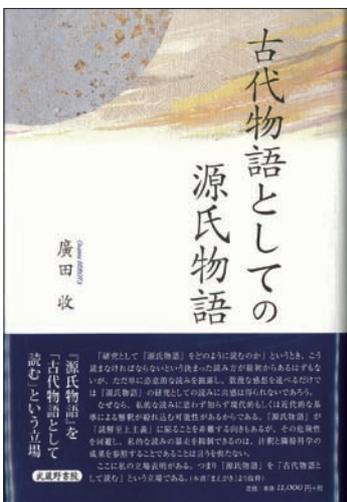
古代物語としての源氏物語

廣田 收〔著〕

ISBN：978-4-8386-0712-9・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・368 頁



研究として『源氏物語』をどう読むかというとき、ただ単に恣意的な読みを披露し、散漫な感想を述べるだけでは共感は得られないであろう。なぜなら、私的な読みに思わず知らず現代的もしくは近代的な基準による解釈が紛れ込む可能性があるからだ。ここに私の立場表明がある。つまり『源氏物語』を「古代物語として読む」という立場である。



古代物語としての
源氏物語

廣田 收

「源氏物語」をどう読むかというとき、ただ単に恣意的な読みを披露し、散漫な感想を述べるだけでは共感は得られないであろう。なぜなら、私的な読みに思わず知らず現代的もしくは近代的な基準による解釈が紛れ込む可能性があるからだ。ここに私の立場表明がある。つまり『源氏物語』を「古代物語として読む」という立場である。

武蔵野書院

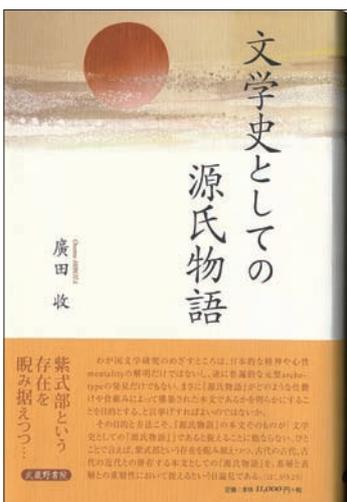
文学史としての源氏物語

廣田 收〔著〕

ISBN：978-4-8386-0276-6・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・352 頁



わが国文学研究のめざすところは、まさに『源氏物語』がどのような仕掛けや仕組みによって構築された本文であることを明らかにすることを目的とする。つまり『源氏物語』の本文そのものが「文学史としての『源氏物語』」であると捉えることに他ならない。ひとことで言えば、紫式部という存在を睨み据えつつ、『源氏物語』を基層と表層との重層性において捉えるという目論見である。



文学史としての
源氏物語

廣田 收

わが国文学研究のめざすところは、まさに『源氏物語』がどのような仕掛けや仕組みによって構築された本文であることを明らかにすることを目的とする。

武蔵野書院

よく和歌る源氏物語

山田利博〔著〕

ISBN：978-4-8386-0475-3・本体 1500 円

四六判並製カバー装・224 頁



歌詠みにとって必読の書と言われる『源氏物語』。しかし、物語に含まれる 795 首という和歌の数だけを見ても、どこから手をつけたら良いものか頭を悩ませます。そこで、本書では肩肘張らずに『源氏物語』の和歌の世界に触れられるように、和歌作りに役立つであろうエピソード 20 話を紹介し、読者を「源氏物語と和歌の世界」へと誘います。



風に紅葉考

—百花繚乱する〈性〉への目差し—

大倉 比呂志〔著〕

ISBN：978-4-8386-0476-0・本体 3000 円

四六判上製カバー装・190 頁



風に紅葉の散る時は……中世王朝物語に属する『いはでしのぶ』や『我身にたどる姫君』には、密通という〈性〉に関わる描写が溢れている。はたして、『風に紅葉』ではそれがどのように語られているのだろうか。本書七編の論文をもとに、その実体を照射する。



源氏物語における神祇信仰

韓 正美〔著〕

ISBN：978-4-8386-0289-6・本体 12500 円

A5 判上製カバー装・424 頁



本書の目指すところは、具体的な物語表現が生産される過程において、神祇信仰がどのような働きを担っているのかを問い、それによって物語表現がどのような独自性を獲得し、また、どのような主題性を物語に胚胎させることになったのかを究明することである。



堤中納言物語の真相

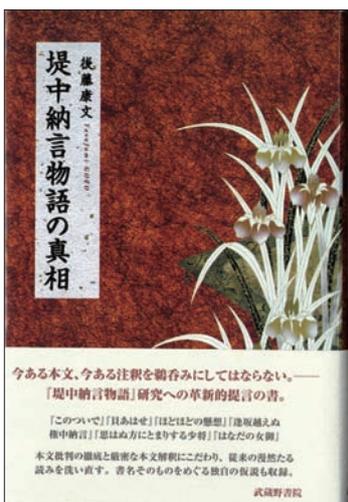
後藤康文〔著〕

ISBN：978-4-8386-0471-5・本体 3000 円

四六判上製カバー装・248 頁



今ある本文、今ある注釈を鵜呑みにしてはならない。本文批判の徹底と厳密な本文解釈にこだわり、従来の漫然たる読みを洗い直す。書名そのものをめぐる独自の仮説も収録。





土左日記虚構論

初期散文文学の生成と国風文化

東原伸明〔著〕

ISBN：978-4-8386-0458-6・本体 2800 円

四六判上製カバー装・304 頁



男もすなる「日記」といふものを、“女もしてみむ”とてするなり。という一文によって始発している『土左日記』。虚構の枠組みの中で、語り手自身は自己を女性の立場で語ることを宣言している。『土左日記』の書き手が、あえて自己を“女”に性の転換をしてみせることで何を指していたのか、その虚構の方法についてさまざまな角度から照射する。



土左日記のコペルニクスの転回

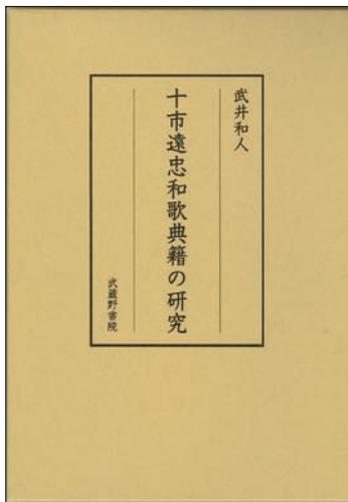
東原伸明〔編著〕
ヨース・ジョエル

ISBN：978-4-8386-0468-5・本体 2800 円

四六判上製カバー装・336 頁



本書は、文学のみならず周辺科学の研究者を動員した横断的学際的な研究書として、既成の権威にとらわれることなく、従来の『土左日記』観を 180 度見直すことを目的に編まれた。『土左日記』を根本からとらえなおす、斯界に一石を投ずる書である。



十市遠忠和歌典籍の研究

最新刊

武井和人〔著〕

ISBN：978-4-8386-0727-3・本体 34545 円

A5 判上製函入三分冊（分売不可）



室町時代の武将・歌人、十市遠忠の和歌典籍の研究書。南都における典籍流通、詠草、歌合・自歌合、古典籍書写者および歌詠みとしての遠忠、遠忠文献などについて論じる。研究篇 592 頁、資料篇上・754 頁、資料篇下・714 頁の大ボリューム三分冊で構成される、約 40 年の永きに亘る著者畢生の研究成果をここに刊行する。



堺本枕草子の研究

山中悠希〔著〕

ISBN：978-4-8386-0293-3・本体 12000 円

A5 判上製カバー装・480 頁



本書では堺本の編纂のありようを、堺本による再構成行為の成果と見なして、『枕草子』の生成・享受の面から積極的に捉え直していきたいと考える。すなわち、堺本を「再構成本」という独自の視点からあらためて検討しようという試みである。

新考 源氏物語の成立

西村 亨〔著〕

ISBN：978-4-8386-0292-6・本体 2800 円

A5 判上製カバー装・400 頁



『知られざる源氏物語』で幅広い視野からその魅力を説き、源氏物語作者複数説の嚆矢たる『源氏物語とその作者たち』へと進化させた成立論に加え、「朝顔の宮追従に発して」「玉鬘十帖の論」「六条院の女性たち」「折口信夫の山田孝雄観」を合流させ、著者畢生の仕事を一冊に凝縮。折口源氏学で培われた「論理」をもって発展昇華させた源氏物語成立論。



学統の継承と源氏物語成立論

『知られざる源氏物語』で幅広い視野からその魅力を説き、源氏物語作者複数説の嚆矢たる『源氏物語とその作者たち』へと進化させた成立論に加え、「朝顔の宮追従に発して」「玉鬘十帖の論」「六条院の女性たち」「折口信夫の山田孝雄観」を合流させ、著者畢生の仕事を一冊に凝縮。折口源氏学で培われた「論理」をもって発展昇華させた源氏物語成立論。特に本邦にある研究者や、幅広い読者に読んでほしいという思いで本書は成った。

ものがたりたちの京都 京都文学入門

最新刊

京都と文学研究会〔編〕

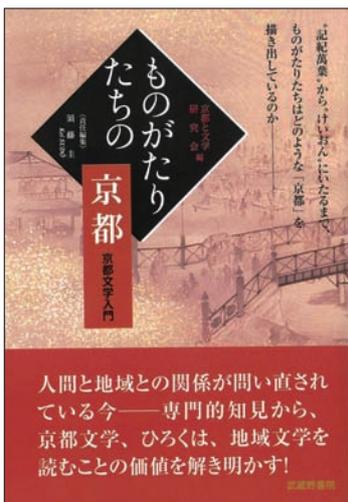
ISBN：978-4-8386-0484-5・本体 1500 円

責任編集：須藤 圭

四六判並製カバー装・228 頁



『記紀萬葉』から『けいおん』にいたるまで、ものがたりたちはどのような「京都」を描き出しているのか。人間と地域の関係が問い直されている今——専門的知見から、京都文学、ひろくは、地域文学を読むことの価値を解き明かす！



人間と地域との関係が問い直されている今——専門的知見から、京都文学、ひろくは、地域文学を読むことの価値を解き明かす！

国冬本源氏物語論

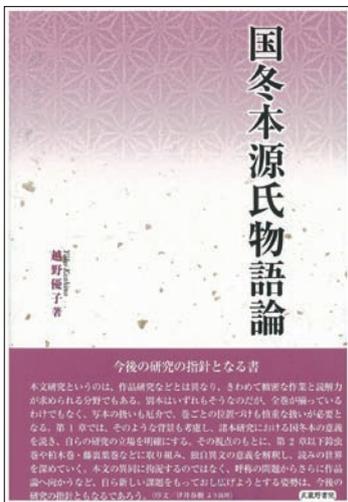
越野優子〔著〕

ISBN：978-4-8386-0296-4・本体 9500 円

A5 判上製カバー装・272 頁



第1章では、諸本研究における国冬本の意義を説き、自らの研究の立場を明確にする。その視点のもとに、第2章以下鈴虫巻や柏木巻・藤裏葉巻などに取り組み、独自異文の意義を解釈し、読みの世界を深めていく。本文の異同に拘泥せず、呼称の問題からさらに作品論へと向かうなど、自ら新しい課題を押し広げようとする姿勢は、今後の研究の指針ともなろう。



国冬本源氏物語論

今後の研究の指針となる書

本文研究というのは、作品研究などとは異なり、きわめて難解な作業と説明力が求められる分野でもある。国冬本はいつでもそうなのだが、全巻が揃っているわけでもなく、写本の扱いも厄介で、章ごとの校訂・対校も相当な労力が必要となる。第1章では、そのような背景も考慮し、諸本研究における国冬本の意義を説き、自らの研究の立場を明確にする。その視点のもとに、第2章以下鈴虫巻や柏木巻・藤裏葉巻などに取り組み、独自異文の意義を解釈し、読みの世界を深めていく。本文の異同に拘泥せず、呼称の問題からさらに作品論へと向かうなど、自ら新しい課題を押し広げようとする姿勢は、今後の研究の指針ともなろう。

宮内庁書陵部蔵柳原本 朔旦冬至部類 影印と翻刻

木本好信
樋口健太郎〔編〕

ISBN：978-4-8386-0711-2・本体 8300 円

A5 判上製カバー装・256 頁



本書は、宮内庁書陵部が所蔵する柳原家旧蔵の『朔旦冬至部類』（架蔵番号・柳三六四）を、書陵部の許可を得て、影印、全文翻刻し、末尾に人名索引と解説にかわる「朔旦賀表と朔旦冬至—宮内庁書陵部蔵柳原本『朔旦冬至部類』にふれて—」と題する小論を付したものである。



朔旦冬至部類 影印と翻刻

木本好信
樋口健太郎 編

武蔵野書院 中古文学会会員様向け特設サイト注文書

Fax 03-3291-4839 Mail : info@musashinoshoin.co.jp

この注文書でご注文いただければ、学会割引(税込定価の2割引+送料無料)を適用させていただきます(2020年7月31日まで)。

書籍名	価格	部数	公費・私費
源氏物語生々流転 論考と資料	本体：16000円+税	部	公費・私費
平安文学の人物と史的世界—随筆・私家集・物語—	本体：12000円+税	部	公費・私費
次世代に伝えたい新しい古典—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて	本体：2000円+税	部	公費・私費
平安中期和歌文学攷	本体：11000円+税	部	公費・私費
源氏物語三条西家本の世界—室町時代享受史の一様相	本体：12500円+税	部	公費・私費
後拾遺和歌集 新風と「をかしき風躰」	本体：8800円+税	部	公費・私費
文学としてのマンガ	本体：2000円+税	部	公費・私費
大和物語の達成—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑦ 紫式部日記・集の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑥ 狭衣物語の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑤ 宇治十帖の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ④ 堤中納言物語の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
源氏物語の表現と絵画的展開—夕霧を中心に	本体：12000円+税	部	公費・私費
兵部卿物語全釈	本体：3500円+税	部	公費・私費
長秋詠藻全評釈 下巻	本体：12500円+税	部	公費・私費
古韻琴声 余明 王昭君を奏でる (DVD)	本体：4000円+税	部	公費・私費
仮名文テキストとしての伊勢物語	本体：8500円+税	部	公費・私費
日本文学概論ノート 古典編	本体：1400円+税	部	公費・私費
源氏物語の記憶—時代との交差	本体：14500円+税	部	公費・私費
〈今・ここ〉に効く源氏物語のつづやき	本体：1200円+税	部	公費・私費
更級日記と東国の風景	本体：3000円+税	部	公費・私費
古代物語としての源氏物語	本体：11000円+税	部	公費・私費
文学史としての源氏物語	本体：11000円+税	部	公費・私費
よく和歌る源氏物語	本体：1500円+税	部	公費・私費
風に紅葉考—百花繚乱する〈性〉への目差し—	本体：3000円+税	部	公費・私費
源氏物語における神祇信仰	本体：12500円+税	部	公費・私費
堤中納言物語の真相	本体：3000円+税	部	公費・私費
土左日記虚構論 初期散文文学の生成と国風文化	本体：2800円+税	部	公費・私費
土左日記のコペルニクスの転回	本体：2800円+税	部	公費・私費
十市遠忠和歌典籍の研究	本体：34545円+税	部	公費・私費
堺本枕草子の研究	本体：12000円+税	部	公費・私費
新考 源氏物語の成立	本体：2800円+税	部	公費・私費
ものがたりたちの京都 京都文学入門	本体：1500円+税	部	公費・私費
国冬本源氏物語論	本体：9500円+税	部	公費・私費
宮内庁書陵部蔵柳原本 朔旦冬至部類 影印と翻刻	本体：8300円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍 []	本体 円+税	部	公費・私費

ご注文者

公費の場合

お名前 (フリガナ)	お電話番号	お宛名	
ご送付先 〒 _____		公費伝票類	
		日付有無	あり・なし
		納品書	通
		見積書	通
		請求書	通